

視聴者注目の”瞬間”を分析！ NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の第24回「変わらぬ人」

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、2022年1月にスタートした、三谷幸喜さん脚本・小栗旬さん主演の『鎌倉殿の13人』を、毎放送回、視聴者がどのシーンに注目したのかを分析しています。

6月19日に放送された第24回「変わらぬ人」は、視聴者にどのように見られていたのでしょうか？

テレビの視聴者の様子を、1分毎の「TVISION推定視聴率」と、「テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合＝注目度※」のグラフで見ました。

用語解説 注目度

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合です。

テレビのコンテンツに、注目している度合いがわかります。

TVISION

『鎌倉殿の13人』毎分の注視データで見る、視聴者が注目したシーンとは？

第24回は、またも源頼朝（大泉洋さん）の怒りに触れた者が不幸になるという回でした。

頼朝と万寿（金子大地さん）が巻狩りを終えて無事に戻り、喜ぶ政子（小池栄子さん）。しかし、頼朝は自身に代わって鎌倉殿の座に就こうとした弟・範頼（迫田孝也さん）を許さず、余波が鎌倉を揺るがしていました。比奈（堀田真由さん）を傍らに、三浦義村（山本耕史さん）、金剛（坂口健太郎さん）と思いを巡らせる義時（小栗旬さん）。そんな中、亡き許嫁・源義高（市川染五郎さん）を慕い続ける大姫（南沙良さん）は、頼朝が用意した縁談話を歯牙にもかけず・・・というストーリーでした。

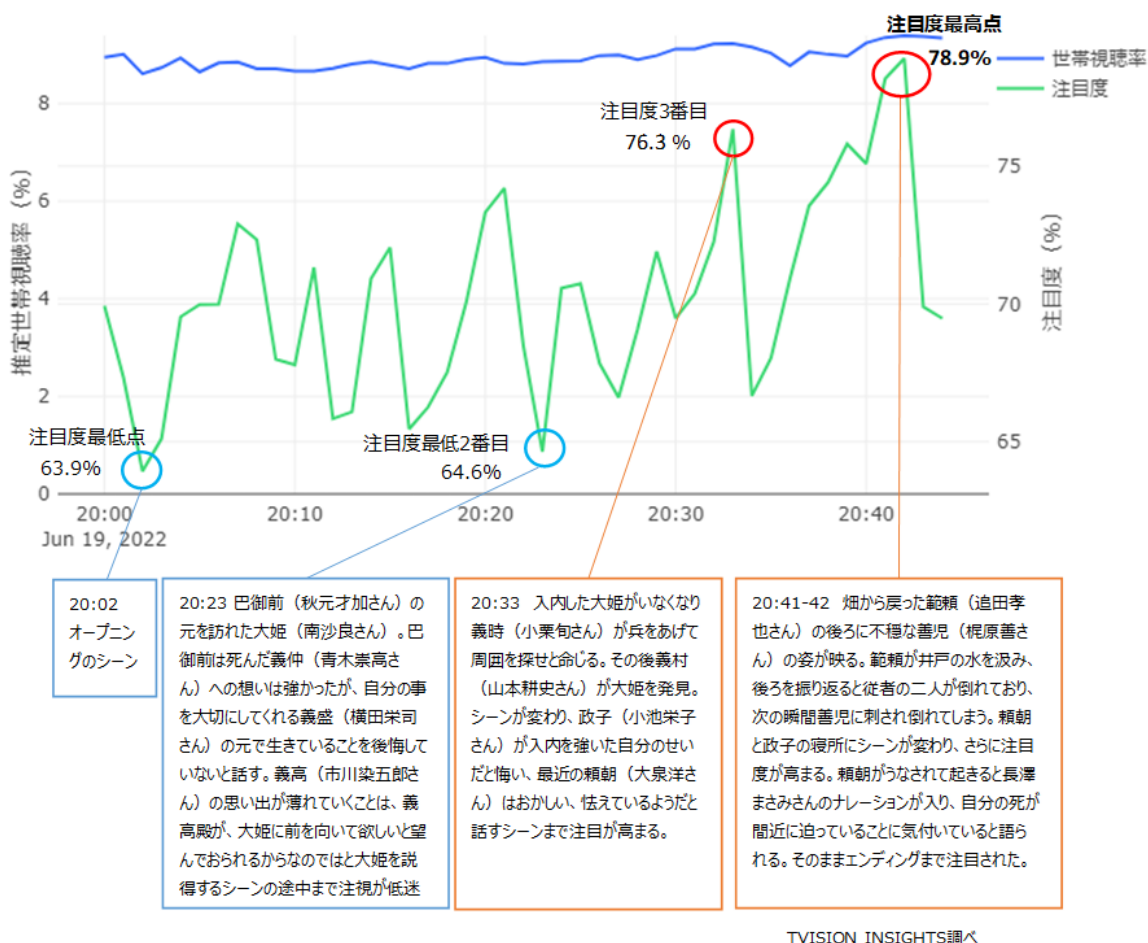
ツイッターでは、「#鎌倉殿の13人」がオンエア中から9週連続の世界1位になりました。一時は入内したものの、体調を崩して20歳の若さで亡くなってしまった大姫に同情する声が多く「大姫ちゃん」がランクイン。また、大姫を見つけた義村がかけた救いの言葉「己の幸せのため」もトレンド入りしました。

毎分での注目度と推定世帯視聴率の推移

日付：2022年6月19日（日）放送

属性：個人全体

NHK『鎌倉殿の13人』第24回放送 毎分注目度推移



最も注目されたのは、20時41分から42分で、注目度は78.9%でした。畑から戻った範頼の後ろに、善児（梶原善さん）の姿が映るところから注目が高まりました。範頼が井戸の水を汲み、後ろを振り返ると従者の二人が倒れており、次の瞬間、善児に刺され倒れてしまいます。頼朝と政子の寝所にシーンが変わり、さらに注目度が高まりました。頼朝がうなされて起きると長澤まさみさんのナレーションが入り、自分の死が間近に迫っていることに気付いていると語られます。そのままエンディングまで注目されました。今回も視聴者は、善児の登場で命を奪われる、暗く悲しいシーンに釘付けになったようです。

注目度が二番目に高かったシーンは20時33分で、注目度は76.3%でした。入内した大姫がいなくなり、義時が兵をあげて周囲を探せと命じます。その後、義村が大姫を発見しました。シーンが変わり、政子が入内を強いた自分のせいだと悔い、最近の頼朝はおかしい、怯えているようだと話すシーンまで注目が高まりました。

注目度が一番低かったシーンは冒頭20時2分のオープニングでした。

注目度が2番目に低かったのは、20時23分で64.6%でした。悩みを聞いてもらうため巴御前（秋元才加さん）の元を訪れた大姫。巴御前は、死んだ義仲（青木崇高さん）を慕っていたが、自分の事を大切にしてくれる義盛（横田栄司さん）の元で生きていることを後悔していないと話します。義高殿の思い出が薄れていくことは、「義高殿が、大姫に前を向いて欲しいと望んでおられるからなのでは」と大姫にいまを生きるよう説得するシーンの途中まで注視が低くなりました。境遇の似た2人が語る重要なシーンでしたが、前半は注目が低い結果となりました。

※2021年の年間の、プライム帯（19-23時）におけるドラマジャンルの平均注目度は63%

<過去放送回の「鎌倉殿の13人」各回注目シーン分析はこちらをご覧ください>

<https://telescope.tvisioninsights.co.jp/summary-kamakura13/>

TVISIONでは、視聴者のテレビへ視線がどれだけ向けられたのか、テレビ番組では毎分、CMでは毎秒でデータを取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行って参ります。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@tvisioninsights.com
Tel（担当直通） 050-5468-2785

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、きちんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。